

【トピック展 開催中】 南牧村で発見！ 「日本初の新種のチョウ化石と新属新種のカメムシ化石」

昨年、群馬県南牧村で見つかった化石2点が、それぞれチョウ類とカメムシの新種であると判明しました。

今回、これらの化石の研究者である相場博明さん（慶應義塾幼稚舎教諭）から、2つの新種の根拠となった化石標本2点が当館に寄贈されましたので、期間限定で公開しています。

1 展示標本

カブトイワミスジチョウ（化石種）【正基準標本】

学名：^{ネプティス カブトイワエンシス}*Neptis kabutoiwaensis*
分類：昆虫綱 新翅類 チョウ（鱗翅）目 タテハチョウ科
採集者：西澤 光
地層と年代：兜岩層（新生代新第三紀 後期鮮新世、約350万年前）



※世界的にチョウの化石が見つかることは極めて珍しく、新種は国内初となります

ムカシアシアカカメムシ（化石種）【正基準標本】

学名：^{テトラペンタトマ ニシザワイ}*Tetrapentatoma nishizawai*
分類：昆虫綱 新翅類 カメムシ（半翅）目 カメムシ科
採集者：西澤 光
地層と年代：兜岩層（新生代新第三紀 後期鮮新世、約350万年前）



2 展示期間等

- 開催期間等 **1月20日(土)～5月12日(日)** 9:30～17:00（入館は16:30まで）
※毎週月曜日休館（月曜日が祝日の場合は翌日）
- 展示場所 当館エントランス
- 観覧料 無料（常設展・企画展の観覧は有料）

3 問い合わせ先

群馬県立自然史博物館 〒370-2345 群馬県富岡市上黒岩 1674-1
TEL. 0274-60-1200 ホームページ <https://www.gmnh.pref.gunma.jp/>



自然史博物館
ホームページ